



人々から信頼される
医師となるために。



徳島市民病院

〒770-0812 徳島県徳島市北常三島町2丁目34

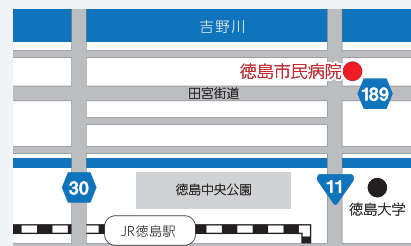
TEL:088-622-9323 FAX:088-622-5313

E-mail:kanri@hosp.tokushima.tokushima.jp

HP:https://www.city-tokushima-hosp.jp/

病院見学はいつでも
お気軽にご連絡を！

徳島市民病院
事務部 総務管理課



TOKUSHIMA MUNICIPAL HOSPITAL

令和8年度徳島市民病院初期臨床研修プログラム



確かな一歩が、
未来の命を救う力になる。



徳島市民病院

思いやり・信頼・安心

徳島市民病院 基本方針

- 一、医療の安全管理を徹底し、患者中心の医療を行います。
- 一、救急医療を含めた急性期医療と高度で専門性の高い医療を提供します。
- 一、地域医療向上のため連携を密にし、教育と研修に努めます。
- 一、災害時の救急患者の受け入れなど災害救急医療に対応します。
- 一、公共性と経済性に配慮して、経営の安定化に努めます。



臨床研修理念

徳島市民病院は「思いやり・信頼・安心」を提供できる医師となるために、医師としての人格を涵養し、全人的医療の提供ができる能力を育てます。

臨床研修 基本方針

- 一、全人的医療を提供できるように、プライマリ・ケアの基本的診療能力（態度、技能、知識）を身につけます。
- 一、急性期病院としての役割を理解し、急性期疾患と救急疾患の初期治療を行える技能を修得します。
- 一、地域連携を理解し、地域の医療従事者と円滑な連携を行う能力を身につけます。
- 一、多職種連携によるチーム医療を実践し、他の職種と協調・協力する姿勢を身につけます。
- 一、地域保健を理解し、適正な医療を提供できるようにします。

徳島市民病院の救急外来

救急外来は地域の医療機関と連携し、役割分担を図りながら、緊急な治療を必要とする患者さま（二次救急）を中心に受け入れを行っています。また院内トリアージを行い、適切な救急対応が行えるよう努めています。平成24年よりICLSコースを開催しています。



病床数・診療科について



臨床指標（令和6年度実績）

一日平均入院患者数………252.4人
一日平均外来患者数………439.6人
平均在院日数………9.6日
年間手術件数………4,314件
分娩件数………544件
救急患者総数………7,282件（1日平均20.0件）
救急搬送数………3,405件（1日平均9.33件）

病床数

307床（一般病床271床、緩和ケア病床24床、感染症専用病床（平時は休床）12床）

職員の状況

651人（医師数84人、指導医数49人）
※令和7年4月1日現在。
指導医数は指導医養成講習会修了者の人数。

診療科

・内科	・腫瘍精神科
・呼吸器内科	・リウマチ・膠原病内科
・循環器内科	・外科
・消化器内科	・呼吸器外科
・血液内科	・消化器外科
・糖尿病・代謝内科	・甲状腺外科
・内視鏡内科	・乳腺外科
・腫瘍内科	・大腸・肛門外科
・血液腫瘍内科	・肝臓・胆のう・膵臓外科
・緩和ケア内科	・内視鏡外科
・腫瘍外科	・眼科
・整形外科	・リハビリテーション科
・形成外科	・放射線科
・脳神経外科	・麻酔科
・皮膚科	・病理診断科
・泌尿器科	・臨床検査科
・産婦人科	・心臓血管外科
・婦人腫瘍科	（外来のみ）
・小児科	
・耳鼻咽喉科	



徳島市民病院 院長挨拶

地域住民の方々に頼られる病院を目指す

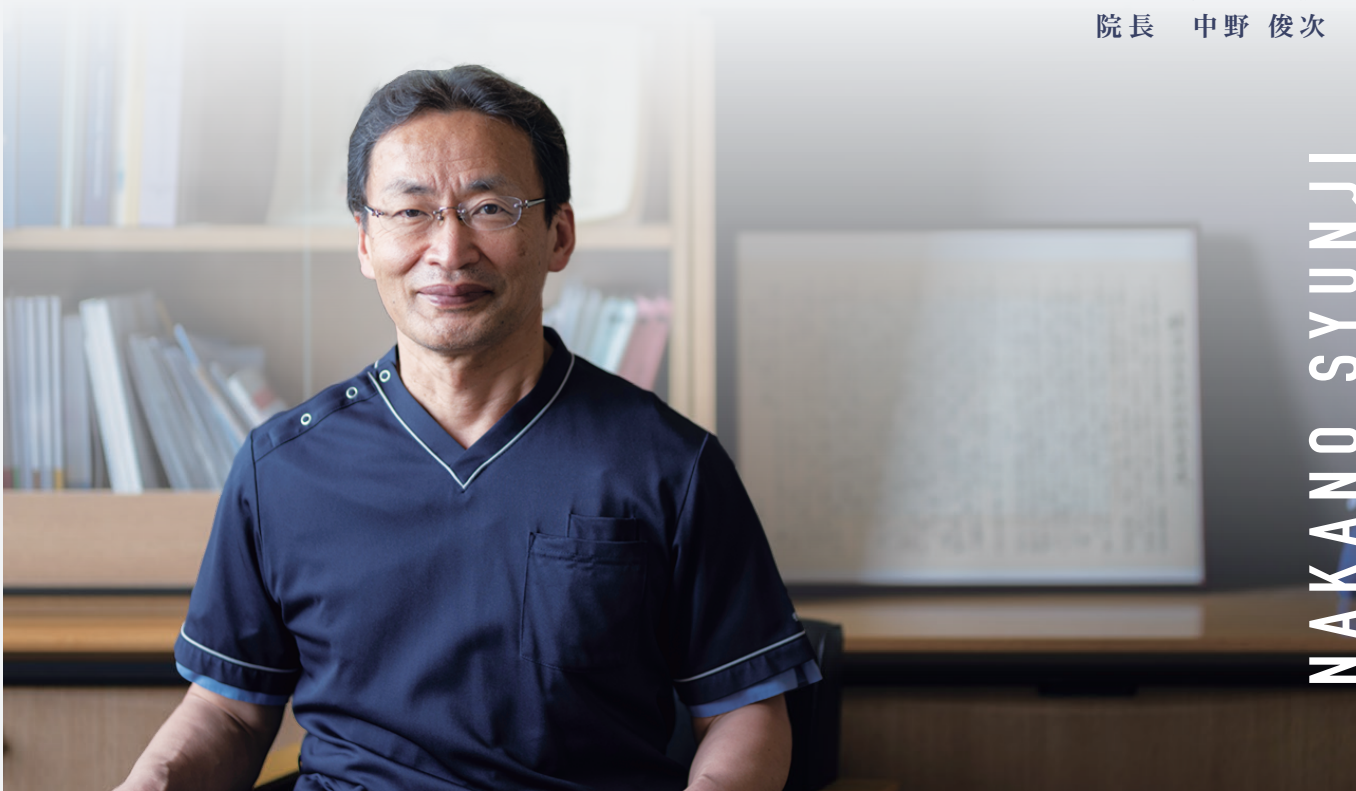
現在の徳島市民病院は平成22年に屋上ヘリポートを有する11階建てとして造られ、病床数307床、全職員数651名の中規模な病院です。これまで、徳島市民病院は97年の歴史を有し、思いやり、信頼、安心を病院の理念のもと、地域医療を担ってきた公的中核病院であります。

診療面では84名(研修医を含む)の医師とコメディカルの多職種と連携してチーム医療を行っています。特に、がん、関節治療、地域周産期母子医療の3つのセンターを中心に、安全で質の高い医療を提供しています。具体的には令和5年7月から低侵襲ロボット支援手術システム(ダヴィンチ)を導入して泌尿器科、外科、産婦人科で運用しております。令和3年から人工股関節手術にロボットアーム支援システムを導入運用が順調で、人工膝関節手術にも適応を拡大しました。令和5年10月から全国的にニーズが高まっている無痛分娩を開始いたしました。救急医療においても二次救急を中心に、年間約3,000台以上の救急車と、6,800名を超える緊急患者を受け入れております。令和7年4月から月曜日から金曜日の日勤帯は徳島大学病院から救急医を派遣していただいております。また、災害時医療においても15名のDMAT隊員を中心に体制を整えております。

また、初期研修医および医学部生の臨床研修病院として、徳島大学と密に連携して、魅力ある研修プログラムを作成して、多くの臨床経験を積んでもらうことを重視しています。

当院の研修モットーは「研修は厳しく、しかし楽しく」です。社会に貢献できる常識を持った医師として、礼儀正しい社会人として育つように指導を心がけております。是非一度、見学・研修にお越しください。

徳島市民病院
院長 中野 俊次



経験を積むためのプログラム

初期臨床研修について

自由度の高いプログラムと各科の協力体制が充実

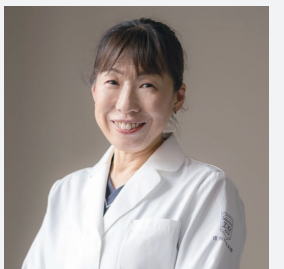
初期臨床研修は、将来の医師としての能力やキャリア形成に大きな影響を及ぼすため、どんな施設でどのような研修を開始するのかが極めて重要です。私自身を振り返ってみても、医師キャリアの1・2年目に学んだこと、経験したことは現在の自分の礎となっています。当院における必修科目の研修は、内科24週、救急12週(うち4週は麻酔科、4週は救急室研修)、外科8週、産婦人科8週、小児科8週、精神科4週、地域医療4週及び一般外来4週です。必修の研修以外の期間は、研修医が各自で自由に希望する診療科を選択して研修することができます。

当院の研修プログラムは、研修医が将来のキャリアを見据え、自ら考え、模索し、立案していく自由度の高いプログラムであることが特徴です。基幹となる内科研修は、消化器、呼吸器、循環器、内分泌・代謝、血液内科の5つの小診療科に分かれ、専門分野別に密度の高い研修を受けることができます。消化器や呼吸器、循環器内科では内視鏡やカテーテル手技などを積極的に経験できます。外科系の診療科では手術症例が非常に多く、研修医にも積極的に手術に参加してもらっています。産婦人科は徳島県トップクラスの分娩数を扱い、小児科とともに周産期医療の中心的役割を果たしており、分娩から新生児医療の経験を豊富に積めます。救急研修では徳島大学救急集中治療部医師の指導のもとで初期対応を学べます。学術活動も積極的に支援しており、研修医全員が学会発表や論文作成を行っています。

当院は診療科間の垣根が低いことが特徴で、各科の協力体制が構築されており、診療を迅速に進めることができます。さらに上級医と研修医の垣根も低く、科を問わず、上級医にいつでも相談できる環境が整っています。病院見学や研修についていつでもお問い合わせください。

これからの長い医師人生において最も大切な最初の一步を徳島市民病院の初期研修医として踏み出してみませんか。皆さんが充実した研修生活を送れるように全力でサポートします。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。

臨床教育センター長
岸 史子



研修プログラム

マンツーマン方式を基本として指導を行います。

医師としての人格を涵養し、将来の専門性に関わらず、医学・医療の社会的ニーズを認識し、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるように、プライマリーケアの基本的な診療能力を身につけることを目的とします。徳島大学病院及び臨床研修協力施設と協力して臨床研修を行います。

内科24週、救急部門12週（うち8週は麻酔科4週、2年次の当直勤務4週を換算）、外科8週、小児科8週、産婦人科8週、精神科4週、一般外来4週及び地域医療4週を必修とし、残りは選択必修科及び選択科の研修を計36週行います。地域医療研修では、県内で在宅医療を行っている診療所などで研修を行います。



必修科目

68週	
救急当直(週1回程度)	
内科	……24週
救急	……12週※うち8週は麻酔科4週、救急当直を4週に換算
外科	……8週
小児科	……8週
産婦人科	……8週
精神科	……4週
一般外来	……4週
地域医療	……4週

選択科目

36週	
救急当直(週1回程度)	
○内科	○皮膚科
○外科	○泌尿器科
○脳神経外科	○麻酔科
○整形外科	○耳鼻咽喉科
○小児科	○病理診療科
○産婦人科	
○眼科	
○放射線科	

1年間のプログラム一例

◎プログラム例 A

1年次											
— 必修科目 —											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科 8 週		外科 8 週		麻酔科 4 週		産婦人科 8 週		小児科 8 週		内科 8 週	
										救急 4 週	
										精神科 4 週	
救急当直 1 回程度／週											

2年次											
必修科目				選択科目							
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地域医療 4 週		内科 8 週		外来 4 週		選択科目及び不足必修 36 週					
救急当直 1 回程度/週				救急当直 1 回程度/週							

◎プログラム例 B

1年次											
必修科目											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科8週		小児科8週		産婦人科8週		外科8週		麻酔科4週		内科16週	
救急当直 1回程度／週											

2年次											
必修科目				選択科目							
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
精神科4週	地域医療4週	救急4週	外来4週	選択科目及び不足必修 36週							
救急当直 1回程度/週				救急当直 1回程度/週							

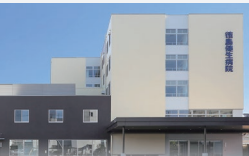
臨床研修施設（協力病院・協力施設一覧）

協力病院



徳島大学病院

〒770-8503
徳島市蔵本町2丁目50-1



徳島健生病院

〒770-0805
徳島市下助任町4丁目9

協力施設



近藤内科病院

〒770-8008
徳島市西新浜町1丁目6-25



国民健康保険勝浦病院

〒771-4306
勝浦郡勝浦町棚野字
鴻畑13番地2



虹の橋葵ホスピタル

〒771-4266
徳島市八多町三反地43番地



美波町国民健康保険美波病院

〒779-2109
海部郡美波町田井105-1



一般社団法人徳島市医師会

〒770-0847
徳島市幸町3丁目77



鳴門山上病院

〒772-0053
鳴門市鳴門町土佐泊浦
高砂205-29



三好市国民健康保険市立三野病院

〒771-2304
三好市三野町芝生1270-30



徳島往診クリニック

〒770-8053
徳島市沖浜東2丁目17



水の都記念病院

〒770-0051
徳島市北島田町1丁目
46番11



沖の洲病院

〒770-0862
徳島市城東町1丁目8-8



豊田内科

〒770-0861
徳島市住吉2丁目2-35



イツモスマイルクリニック

〒770-0022
徳島市佐古二番町5-11



TAOKAこころの医療センター

〒770-0862
徳島市城東町2丁目7-9



つるぎ町立半田病院

〒779-4401
美馬郡つるぎ町半田
中敷234-1



かさまつ在宅クリニック

〒770-8054
徳島市山城西4丁目13-3



初期臨床研修医からの メッセージ



常に誰かが支えてくれる安心感と 確実に成長できる環境がある



はじめまして。研修医1年目の宿里望と申します。

私が徳島市民病院で初期研修を行うことを決めたのは、見学に訪れた際感じた温かな雰囲気と、医師・スタッフ間の風通しの良さに惹かれたからです。実際に働いてみると、想像以上にアットホームな環境で、どんな些細なことでも相談しやすく、常に誰かがそばで支えてくれる安心感があります。私は育ちも大学も県外出身という事もあり、不安な中ここ徳島県にやって参りました。しかし、先ほど述べたように研修医・医師・コメディカルの方など病院のスタッフの皆さんがとても優しく、安心して研修医生活を送ることができています。また、毎日の業務の中でも自然と笑顔があふれ、互いに声をかけ合いながら働けることが、日々のやりがいにもつながっています。

研修プログラムのいい所は自由度が高く、自分の興味や将来のキャリアに応じて柔軟にローテーションを組むことができることです。「この診療科でもっと学びたい」「将来を見据えてこの経験を積んでおきたい」といった希望に対しても丁寧に応えていただき、自分のペースで確実に成長していける環境が整っています。主体的に学ぶ姿勢をしっかりと支えてくれる体制があり、日々の経験が自信へとつながっていきます。

また、指導医の先生方はとても熱心で優しく、日々の診療や手技の指導に加えて、患者さんとの接し方や医師としての姿勢まで丁寧に教えてくださいます。先生方ご自身が地域医療や市民との関わりを大切にされており、その温かい姿勢から学ぶことも多くあります。

徳島市民病院での初期研修は、確かな臨床力を身につけながら、人として、医師として成長できる貴重な2年間になると感じています。ぜひ皆さんもこの温かな環境の中で、一緒に学び、支え合いながら成長していきましょう。お待ちしております。



初期臨床研修医1年次
宿里 望 Shikuri Nozomi

興味や目標に応じた研修計画で 日々研鑽を積む



はじめまして。研修医2年目の新居と申します。研修医として徳島市民病院で働き始めて早1年以上が過ぎました。その中で感じた市民病院の魅力について紹介します。

市民病院の研修プログラムの一番の魅力は、なんといってもその自由度の高さです。研修医それぞれの興味や目標に応じて柔軟に研修内容を選択できるため、自主性を持って学ぶことができます。

診療科のローテーションについては、一定の枠組みはあるものの、個々の希望に応じた調整が可能です。特定の専門分野に深く携わりたい場合や、幅広い領域を経験したい場合等、それぞれのスタイルに合わせた研修計画を組むことができます。また、徳島大学等との連携による院外での実習も可能で、自分の目指すキャリアに即した実習を行うことができます。

救急当直に入る日程も柔軟に決めることができ、ワークライフバランスを保った研修を行うことができます。救急当直の経験は研修医としての成長に欠かせないものだと思います。市民病院は二次救急医療機関として幅広く多様な症例を扱います。初期対応から診断、治療方針の決定まで、自ら考え行動する機会が多く、実践的な臨床能力を鍛えることができます。指導医が常にサポートしてくださる中で診察や手技を行い、安心して学ぶことができると同時に、責任感の重要性を実感する場面も多くあります。また、指導医の先生だけでなく、コメディカルの方々に優しくフォローしていただく機会も多く非常にありがたいと感じています。

この恵まれた環境のもと、自らのニーズに適した研修を通じて日々研鑽を積みながら、私は医師として最善の医療を提供する能力を高めることを目指し成長していきたいと考えています。

皆さんもぜひ医師としての最初の一步を徳島市民病院で踏み出してみませんか。



初期臨床研修医2年次
新居 拓朗 Nii Takuro

徳島市民病院のセミナー・イベント行事

幅広い知識を身につける セミナー・研修会

田岡病院救急科の上山裕二先生をお招きし、救急医療に関する実践セミナーを行っています。
本セミナーは救急医療の魅力や、災害医療、心肺蘇生などの救急に関する知識を幅広く教えていただき、救急医療に必須のICLSの実技も行っています。



安心安全な医療を提供するために
ともに学び、成長していく



蘇生のために必要な技術や
チーム医療を身につける

徳島大学の医療教育開発センタースキルスラボを利用して診療手技のシミュレーションの研修が行われ、中心静脈カテーテル、胸腔ドレーン留置、腰椎穿刺などの講習会を実施しています。

交流を深め、楽しむ、イベント行事

市民の皆さんに徳島市民病院とその仕事を楽しく知ってもらうことを目的に市民病院まつりなど様々なイベントを年間を通して行っています。夏の恒例行事として医局主催のビアパーティーがあります。ビアガーデンに医師や看護師、院内の多職種が集い、屋上の心地よい風に吹かれながら飲み物を手に歓談します。



徳島のイベントは欠かせない！
阿波踊りにも積極的に参加

徳島市民病院の阿波踊り連「眉誠連」では、毎年徳島市内の演舞場に職員一同躍り込み、市民の皆さんと一緒に楽しんでいます。



多職種で交流し仲を深める
ビアパーティー

初期臨床研修医募集要項

応募資格

大学の医学部または医科大学を卒業し、医師免許を有する者又は令和8年3月医師免許取得見込者

募集人数 7名

研修期間 2年間

選考方法 小論文及び面接

申込期間

令和7年8月29日(金)まで
※申込期間を延長する場合がございますので、詳細は徳島市民病院ホームページをご覧ください。

面接日

申し込み受付後に日程調整し、応募者に通知します。

提出書類

・卒業(見込)証明書 ・臨床研修申込書 ・小論文 ※課題は申し込み受付後に、応募者に送付します。
(当院HPからダウンロード可 <https://www.city-tokushima-hosp.jp/recruit/recResident/>)

申込方法

臨床研修申込書と卒業証明書、または卒業見込み証明書を徳島市民病院に持参いただくか、封筒表面に「初期臨床研修申込」と朱書きし、簡易書留郵便でお送りください。持参される場合は、平日(8:30~17:00)にお願いいたします。

給与等

基本給

1年次 月額363,000円程度 ※地域手当、特殊勤務手当を含む
2年次 月額373,000円程度 ※地域手当、特殊勤務手当を含む

賞与

給与の約4.6ヶ月分を支給

その他手当

時間外勤務手当、通勤手当、宿直手当、特殊勤務手当、退職手当

休日

土・日・祝日・年末年始(12月29日~1月3日)

休暇

夏季休暇3日ほか忌引、婚姻、育児等に係る特別休暇あり
任用期間に応じて年次有給休暇

社会保険

健康保険、厚生年金保険及び雇用保険は各法令の定めにより加入します。

災害補償

労災保険 ※2年目以降は、地方公務員災害補償基金の補償対象となります。

研修参加等

学会・研修参加などの旅費・参加費支給あり

育児支援

子育て中の医師の育児支援を行っています。
1. 育児休業 子が1歳になるまで取得できます。
2. その他、妊産婦検診、子の看護休暇等の特別休暇があります。

勤務時間

1日 7時間45分(8:30~17:00)

提出及び問い合わせ先

 **徳島市民病院**
事務部総務管理課庶務担当

〒770-0812 徳島県徳島市北常三島町2丁目34番地
TEL:088-622-9323 E-mail:kanri@hosp.tokushima.tokushima.jp